

国語 四一 (書き)	第四学年の漢字(書き)	な前 年 組 番
------------------	-------------	-------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① あい
じょうを うけ
て そだつ。

② いっしゅうかん
に キャンプの けいかく
を たてる。

③ えひめけん
の めいしょ
を あんない
する。

④ なわ
とびの たいかい
で いちい
になった。

⑤ さんすう
で くらいいどり
の べんぎよう
をした。

国ご 四―二 (書き)	第四がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	--------------	----	---	---	---	------------------

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字かんじを書きか
ましよう。送りおくりがなにも気きをつけましよう。

① がつきゅうしんぶん
を いんさつ
して せいと
に

② はたけ
にかこまれた あかい
やね
の いえ
が

めじるし
です。

③ えいよう
の バランスに ちゅうい
して りようり

を つくる
。

④ むかし
、 さかえ
ていた みなと
の しゅうへん
を

さんぽ
する。

⑤ えいご
の ちから
を やしなう
。

国語 四―三 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は □をこえている。

② □を □すこし □くわえる。

③ スポーツ □に □さんか する。

④ □とちぎけんさん の □くだもの □を □ひやつかてん で

□かう。

⑤ はん □ちよう の □やくめ を □はたす。

⑤

ひ

ごろからさい

がい

にそなえておく。

国語 四一五 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字を書きましよう。
おく
送りがなにも氣をつけましよう。

①
かいらよう
した
ひこうき
が
とび
たつ
。

②
しよくぶつ
の
かんさつ
を
あらため
てやり
なおす
。

③
じゅうぶん
にねたので、
からだ
の
ちようし
が
よい
。

④
しょう
らい
は、けい
さつかん
になりたい。

⑤
ぐんまけん
で
ほうぼく
されている
ひつじ
の

むれ
を
み
た。

⑥
とくばいひん
に
おおく
の
きやく
が
むら
がる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① しょうてんがい までの いきかた を おぼえる。

② まちかど の お みせ に せかい かつこく の
ちようみりよう が うら れている。

③ さむざむ で ゆびさき の かんかく が ない。

④ ねん ど の さくひん を かんせい させる。

⑤ めざましどけい が なる。

国語 四一七 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ロケットの□しやに□する。

② □をあらう。

③ □な□にむねがおどる。

④ □にストローのような□を□。

⑤ なせば□なさねば□ぬ□も。

⑥ □に□に□。

国語 四一八 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前	ねん	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① せんそう が なく なることを ねがう。

② しあい で たたかう あいて のことを ねんいり
に しらべる。

③ あらそい を のぞむ ひと はいない。

④ りようをなき は ふくいけん を きぼう します。

⑤ ながねん の ひがん を はたす。

国語 四一九 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ なかま □ きょうりよく □ を □ もとめる □ 。

② □ しあい □ に □ やぶれ □ 、 □ たいかい □ れん □ ばを □ たつせい □

するゆめが、はかなく □ ちつ □ た。

③ □ さんぽちゅう □ に □ ともだち □ を □ みかけ □ た。

④ □ はいしや □ ふつ □ かつせん □ を □ かし □ あがる □ 。

⑤ □ えき □ に □ きゅうじん □ のポスターがはってあった。

国語 四—十 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① この□あたりは□じょうかまちだつた。

② □せんしゅが□けんこうなのは□しよくじのおかげだ。

③ □ながさきけんうみべで、□けしきのきれいな□ばしよを、□いえを□たてる。

④ この□へんには□けんせつ□ちゆうの□たてものが□おおい。

⑤ □みやぎけんしちるべにあつた□ふるいに□しろについて

国語 四十一 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① わき □ で た □ しみず が、 □ しずか に □ ながれる。

② □ せい けつなガーゼをたなに □ つむ。

③ □ せいでんき が □ はつせい する。

④ □ えん の □ めんせき を □ もとめる。

⑤ □ きよらか な □ ところ の □ もちぬし。

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	くみ	番
取りくんだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □のおの□の□をほごする。

② これは□の□せんで、とても□。

③ □があるので□はできない。

④ □が□つける□、□で□を

する。

⑤ □に□に□た。

⑥ この□には□が□。

国語 四十三 (書き)	第四がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ がある □ で □ 。
きょうとふ かいしや はたらく

② ノートに □ せんを □ 。
ふ つける

③ □ の □ をならべる。
かがわけん とくさんひん

④ かれは □ で □ でも □ ている。
はくがく なん しつ

⑤ □ はみんなから □ らいされている。
あね しん

⑥ □ が □ づき、 □ の □ の □ がただ
はる ちか うめ はな かおり

よう。

国語 四十四 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□を□。

② アフリカ□を□だんする。

③ □がくつのひもを□。

④ □て□を□する。

⑤ □の□を□□たい。

国語 四十五 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ノートに□センチメートルの□
をかく。

② □、□を□ている。

③ バスが□して□も□て
いった。

④ □
□で□。

⑤ □では、オーロラを□こと
ができる。

国語 四十六 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は、□で□を
つく　　こんど　　しゅくじつ　　かぞく　　りょうり

② □が□て□ちゃんのたん□を
　　い　　しんるい　　あつまつ　　あか　　じょう　　いわう　　。

③ □の□を□にかざる。
　　きせつ　　はな　　へや　　。

④ □の□に、□がふった。
　　ふゆやすみ　　しよにち　　はつゆき　　。

⑤ □この□の□を□のは
　　はじめて　　たぐい　　しやうひん　　つかう　　だ。　　。

国語 四十七 (かき)	第四学年の漢字 (かき)	名前	年	組	ばん
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① いばらきけん つくら で れた やさい を かう。

② ただしい じつごう ことは、 ゆうぎ をもって

しよう。

③ テレビで こうしん みる を じつごうきゅうで の いちまい

④ たいいく で じゅんぱん に そくてん の れんしゅう をする。

⑤ みぎがわ の たなに きょうかしよ をしまう。

国語 四十八 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① が なった。

② をもらう。

③ になるという に
て、 する。

④ をおしんで に 。

⑤ みんなで して させる。

国語 四十九 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番	取り組んだひ 月 にち
-------------------	--------------	-----	---	---	---	-------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① こんなかん□な□をとくのは
だ。

② □のしたくを□に□。

③ ここは、□で□の□
にだ□です。

④ お□に□をたく。

⑤ □が□に□。

国語 四―二十 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □の□のごみを□。

② □あつが□づき□がある。

③ □から□が□。

④ □は□のもと。

⑤ □はすっかり□を□た。

⑥ □を□。

国語 四十二 (書き)	第四学ねんの漢字(書き)	名前	ねん	組	番
取り組んだ日					
がつ					
日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は、□が□だ。

② □ろくさい □みまん □は □にゅうじょう □むりよう □です。

③ □ねんまつ □あう □ことを □やくそく □した。

④ □はなたば □かう □にはお □かね □が □ふそく □して

いた。

⑤ □つき □が □みち □てくる。

国語 四―二十二 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前 ねん 組 番
---------------------	---------------	--------------------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は、□の□を
□のことし
□もくひよう
□いえ
□てつだい
□まいにち
□することだ。

② □を□てレジに□。
□でんびよう
□もつ
□いく

③ □なことを□。
□じゅうよう
□つたえる

④ おうぎの□の□。
□かなめ
□ぶぶん

⑤ □た□に、つくえを□。
□きまつ
□いち
□おく

こく語 四―二十三 (書き)	第四がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月	日
----------------------	---------------	----	---	---	---	-------------	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① □あか ちゃんがり □わらっ たり □ない たりする。

② □かいすいよく をしたので、シャワーを

□あび た。

③ あらゆる □ほうほう で □ち りようを □ところみる。

④ □こくみん のためのせい □じ。

⑤ □くに を □おさめる リーダー。

⑥ □いがく の □しんぽ によつて □なおる □びようき が

ふえる。

国語 四―二十四 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□を□て、□で□。

② □の□なカレーを□。

③ □のために□を□。

④ □のいわしを□で□。

⑤ □の□では、けんび□で

□するの□ではなかった。

国語 四―二十五 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前 ねん 組 番
---------------------	---------------	--------------

次の文の□にあてはまる漢字を書きましょう。
おくりがなにも気をつけましょう。

① ここでは しんぶん を いんさつ しています。

② パソコンを りよう して ねんが じょうを

する。

③ たとえば、 とつとりけん に りよう するとし

よう。

④ そうべつかい で ともだち と わかれ をおしむ。

⑤ ボールを まと に あてる を、
 ぐたいてき な れい を あげ て せつめい する。

国語 四―二十六 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① 「おもちゃの□の□をピア
ノでひく。

② □まで□が□。
□

③ □をして、□を□かんする。

④ □ゴムを□で□。

⑤ □どもを□て□に□。

5

ゆたかだ。

とく

にくらべ、

ぐん

は

しぜん

が

こくご 四―二十八 (かき)	第四学年の漢字 (かき)	な前 年 組 番
----------------------	--------------	-------------

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ことば の いみ を しらべる ときには

こくごじてん が べんり だ。

② たすけ てくれたお を せん に かく。

③ この あたり は しぜん が ほう ふ だ。

④ とやまけん に すむ なかま から たより が

とどく。

⑤ しずおかけん は、お ちや の さんち として

ゆうめい だ。

⑥ いちだい で、 ばく だい な とみ をきずく。

⑤

	おう
が	
	けらい
に	
	めいれい
する。	

国語 四―三十 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① さめ あたためる
たスーを。

② れい からだ ひえ
ぼうがききすぎて が た。

③ つめたい のみもの ちゅうもん
を する。

④ かいぎ さんか
に する。

⑤ にいがたけん でんしゃ まいり
まで で ます。

国語 四―三十一 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □に□し、□あうなかで

□せいちようする。

② □ふたつ□ぎに□きようつうすることを

□かんがえる。

③ □くんれん□かんせつ□うごきのを

□よくする。

④ □けいばじよう□ちかく□こうえん□がある。

⑤ □かつお□ぶし□をかける。

⑥ □はちおうじし□むかし□こぼとけ□せきしよ□があつた。

国語 四―三十二 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① オリンピックで□をつとめる。

② □らん□で□をふっておうえんする。

③ □たすばらしい□が□も
□に□ている。

④ □じられない□に□をうたがう。

⑤ □のプロ□の□を
□しらべる。

国語 四十三 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の□にあてはまる漢字を書きましよう。
おく
送りがなにも気をつけましよう。

①
[] おりがみ
でつるを [] つくる。

②
[] しょうちくばい
の [] さんしゅるい
のおべん [] とう
を [] かう。

③
[] まつ
と [] うめ
の [] き
のえだを [] きる。

④
[] はたけ
に [] だいこん
の [] たね
をまく。

⑤
その [] かど
を [] うせつ
してください。

⑥
[] しきおりおり
の [] はな
をかざる。

国語 四―三十四 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	な前	ねん	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	---------------	----	----	---	---	------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □を□。

② 鎌□には、□の□□がある。

③ □の□を□する。

④ □□の□を□。

⑤ □の□ことを□じる。

国語 四―三十五 (書き)	第四学年の漢じ(書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次のぶんの□に当てはまる漢じを書きましよう。送りがなにも氣をつけましよう。

① お□が□た。

② □が□をかくにんする。

③ □の□の□。

④ □の□で□を□。

⑤ □で□に□をゆずった。

⑥ □はだれでも□ていく。

国語 四―三十六 (かき)	第四がく年の漢字(かき)	なまえ	年	くみ	番
---------------------	--------------	-----	---	----	---

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① しろぐみ たいさ かつ
[] が [] で [] た。

② にしび さす へや
[] の [] [] 。

③ ふだ じぶん なまえ かく
[] に [] の [] を [] 。

④ せんえんさつ じゅうおく いっちようえん
[] が [] まいで [] だ。

⑤ がっきゆうかい しかい
[] で [] をする。

国語 四―三十七 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① きんぎよ
がたまごを うむ。

② あおもりけん
はりんごの さんちだ。

③ りようり
で しおの りようを はかり
まちがえた。

④ じゆ
もんを となえる。

⑤ し
を あんしょう
する。

国語 四―三十八 (書き)	第四がく年の漢字 (書き)	名前	年	くみ	番
とりくんだ日 月 日					

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① せつめい はふい
を たことを ふかく はんせい

する。

② がくげいかい れんしゅう
とり くむ の にみんなで ねっしん
。

③ ぶんしょう しょう
を りやくして、かん たん にする。

④ ひと みち
の を とく。

⑤ ふくおかけん ちち
は の うまれ た ばしよ だ。

国語 四―三十九 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① みんなで□の□を□た。

② ひぎに□をまく。

③ □が、つまに□を□。

④ □が□みを□たにそまる。

⑤ □んぼで□が□ている。

⑥ □の□の□を

○

国語 四―四十 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □は □の、 □は □の

□だ。

② □は、 □、 □、 □

□の □となり □ている。

③ □や □、 □など

□をめぐる。

④ □に □に □をした。

⑤ □の □は、 □に □

されている。